



2018年度 製・配・販連携協議会
「サプライチェーン イノベーション大賞」提出用

最低発注量*の見直しによる “店舗オペレーション改善”事例

* 自動発注システムにおける『最低発注数量』通常『1個』に設定

2019年4月26日

株式会社フジ

花王グループカスタマーマーケティング株式会社

活動内容のサマリー

今回の事例は、作業負荷の高い『店舗の補充業務』を、商品の発注数量を見直すことにより『低減（時間短縮）』する活動です

“活動のポイント”

- 『**多頻度・少量発注**』が**補充業務を増大させているのではないか？**と、双方が課題認識したところからスタートした取組事例です
 - 補充業務に追われる店舗従業員様、人手不足もあり、この傾向に拍車がかかる
 - 発注頻度(=納品頻度)が多くなれば多くなるほど、結果的に補充頻度も多くなる
- 『**補充単位をまとめることで作業効率化が図れた**』**過去事例を応用し**、2つの売場からスモールスタート、在庫増加の懸念もあり、検証後に対象売場と店舗数を拡大していく進め方にしました
- 検証の結果、**在庫金額の大きな変化なく、補充回数（発注回数）を低減できる**ことを確認、対象を10売場に拡大、更には全店舗にまで拡大した際のシミュレーションまで完了しています

アジェンダ

1. 店舗オペレーションの現状と改善活動
2. 店舗オペレーション改善活動の結果
3. 店舗オペレーション改善による効果見込

よく見かける店舗の風景・・・補充業務に追われる店舗従業員様

『多頻度・少量発注』が、補充業務を増大させているのではないか？



発注頻度（納品頻度） \div 補充（品出し）頻度

発注頻度が多くなれば
多くなる程



補充頻度も多くなる

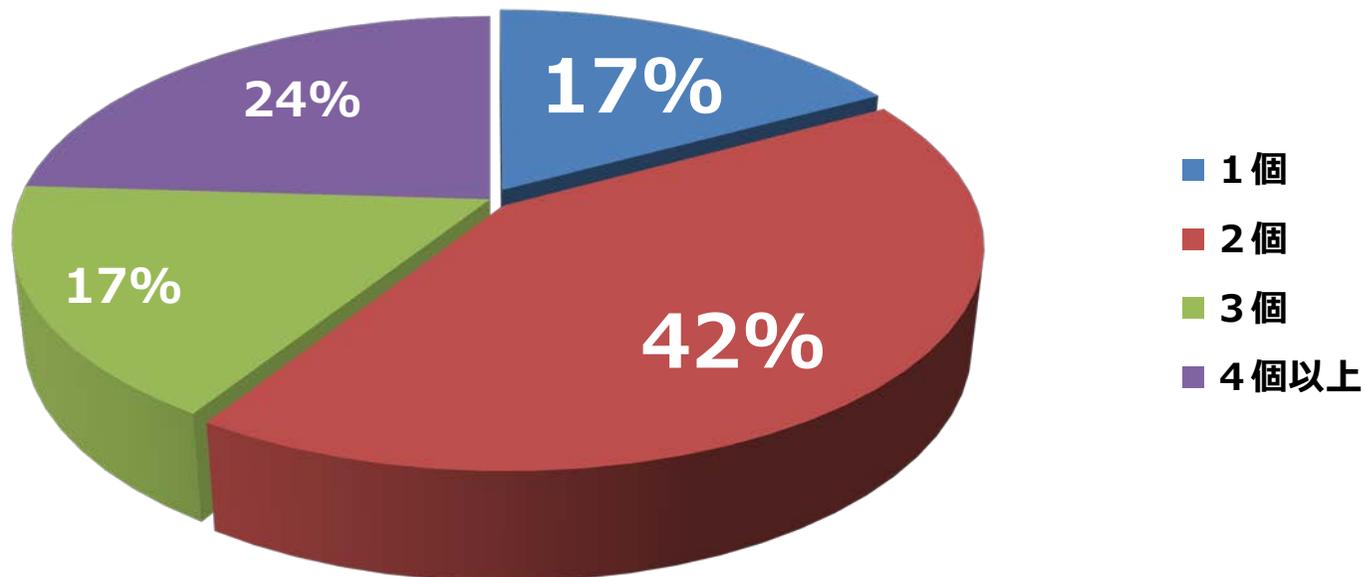
花王商品の受注状況（数量別トレンド）

1 個、2 個のバラ受注（納品）が、全体の約6割を占める

データ元：フジ様の日別、店別、商品別納品データ データ期間：2017年3/1～8/31 単位：数量構成比

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
1 個	17%	17%	17%	18%	17%	17%	17%
2 個	40%	42%	42%	42%	42%	42%	42%
3 個	18%	20%	17%	16%	16%	17%	17%
4 個以上	26%	21%	24%	25%	25%	25%	24%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

59%



花王商品の受注データ例

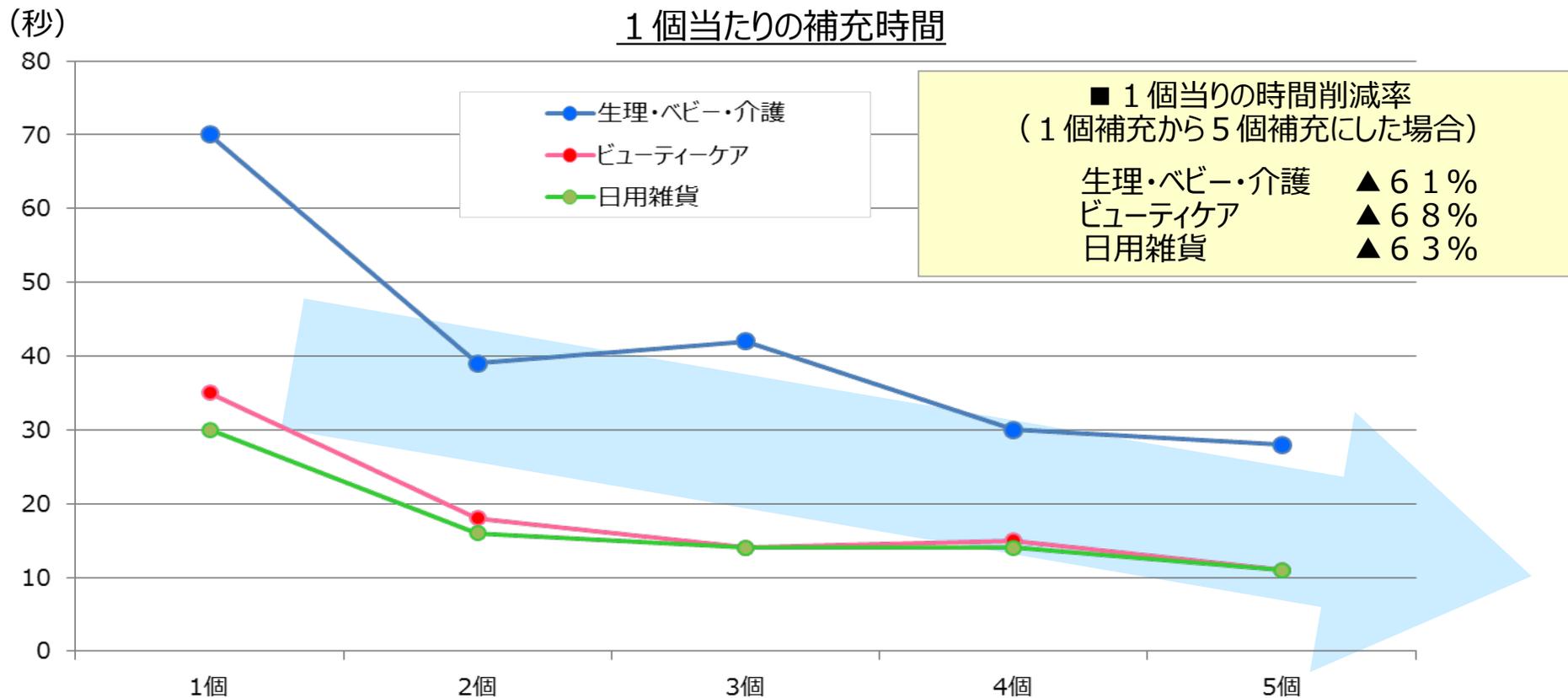
売れ筋商品では、1週間に4回受注（納品）している場合もある

データ元：フジ様の日別、店別、商品別納品データ データ期間：2017年8/1～8/31 数量単位：バラ

	8月																														
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
かや	7		5		2			3				2			3				5		2		3	3		10			6	3	2
かや	3												2		2								2								2
かや	4	2			3			4				2							3		2					3			2	2	
かや	2	3			4				3						3		2					3				3			2	2	
かや	3	2					2	2	3				3		3		3		6				3			4		10			
かや			4		4				3	2		3			4		12						2		5		70				
かや		2	3		4				4	2		2			8	2			3			2		3		2		2	4	2	2
かや		5			2				2			3			4				2			3			3		48				
かや		4			4			4		4		6			3	5	2		3			3	4	2			4		3		
かや		1					1	1				2			1		4														
かや	3	2			2			3		1		1			1		12										36				
かや	3	3			3			2	2			2			3				3			2		3		2			3		
かや	4				8			18								2	3		4			13	2		4		122				
かや	3	5	3		8			29							13	7	4		5			8		4		5		120			
かや	5	4	2		5			27								5			5		5		3		12		122				
かや	4	2			3			2	2		2				3	2			3				3		2			2	3		
かや	3	2			4			3		2		2					2		4			3			2			2		3	
かや	2	2			2			3		3		3			4						2	3		2		2		3		2	

補充作業時間の検証事例

バラ 1 個を補充するよりも複数個補充する方が、1 個当たりの補充時間は短い
 ⇒補充単位をまとめることで作業効率化が図れる



調査店舗：Aチェーン様

※陳列模擬調査：ゴンドラ前にてランダムに商品を出し、1 回当たり 1 個～ 5 個までの品出し時間計測
 ※計測売場：ビューティー（10 売場）・ハウスホールド（4 売場）・サニタリー（3 売場）の 17 売場
 ※商品のサイズにより減少率は異なります

最低発注量の見直しによる店舗オペレーション改善活動

対象商品の自動発注システム上の最低発注量を『1個』から『3個』に変更
発注・補充頻度の変化による業務時間と在庫量の変化を2つの売場で検証

■対象売場

- ①ランドリー売場（衣料用洗剤、柔軟仕上剤、漂白剤）
- ②スキンウォッシュ売場（洗顔料、全身洗浄料、入浴剤）

■実施時期

- ・準備：2018年4月1日～4月30日
 - ・実験：2018年5月1日～6月30日
 - ・集計・検証：2018年7月1日～7月中旬
- ⇒8月以降、店舗と売場の拡大を検討

■テスト店舗(6)

- ・大型店(2)：松山店、重信店
- ・中型店(2)：姫原店、安城寺店
- ・小型店(2)：本町店、立花店



【補足】
テスト店舗の対象売場商品のみ
本部にて一括で最低発注数量を
変更して検証を実施

アジェンダ

1. 店舗オペレーションの現状と改善活動

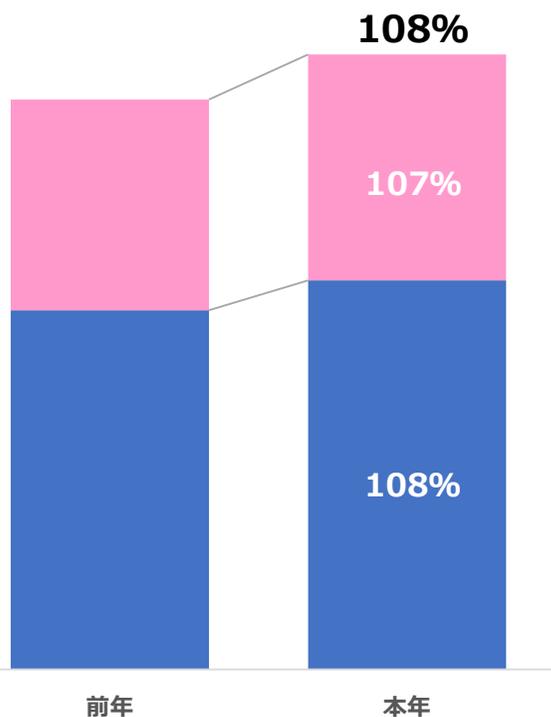
2. 店舗オペレーション改善活動の結果

3. 店舗オペレーション改善による効果見込

最低発注量変更対象部門の総発注数量変化

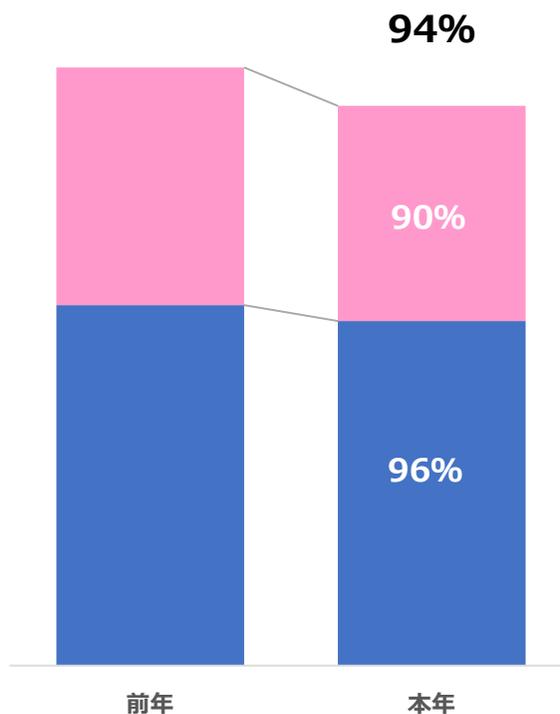
最低発注量変更により期間内の総発注数量は、①小型店『増加』、②中型店『減少』、③大型店『変化なし』という結果となった

【小型店】

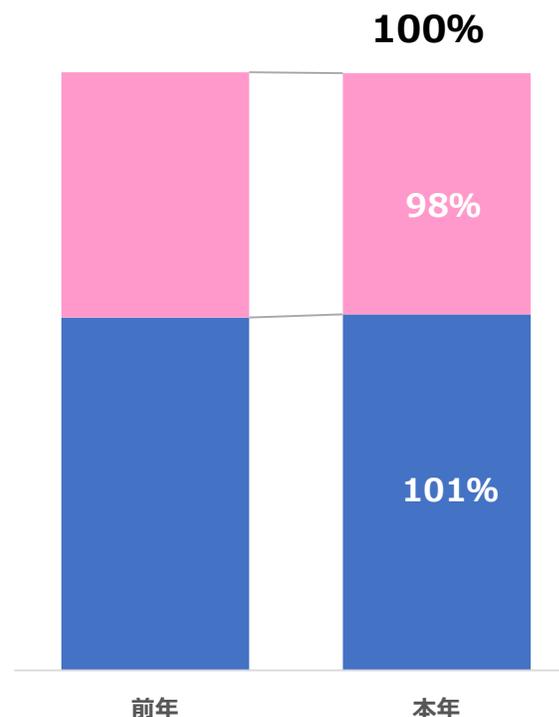


【中型店】

■ 日用品 ■ ケア用品



【大型店】



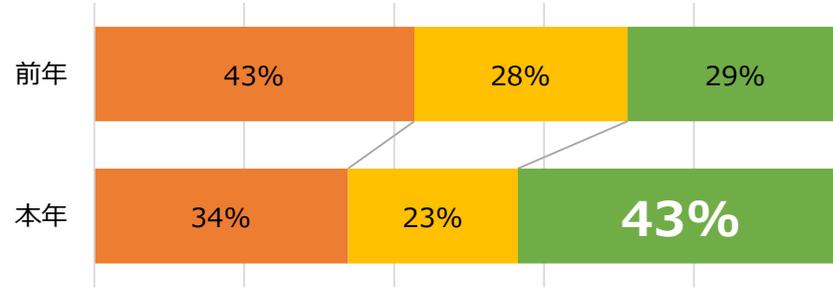
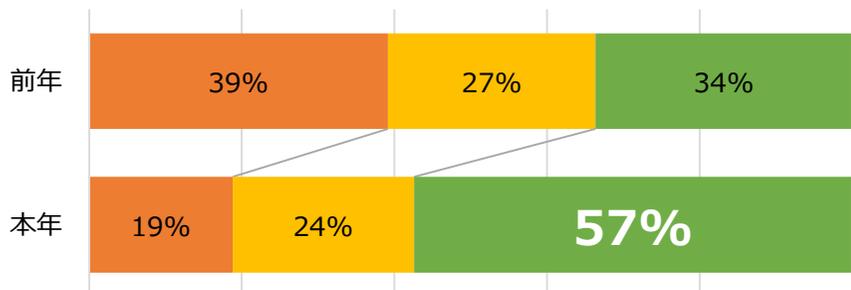
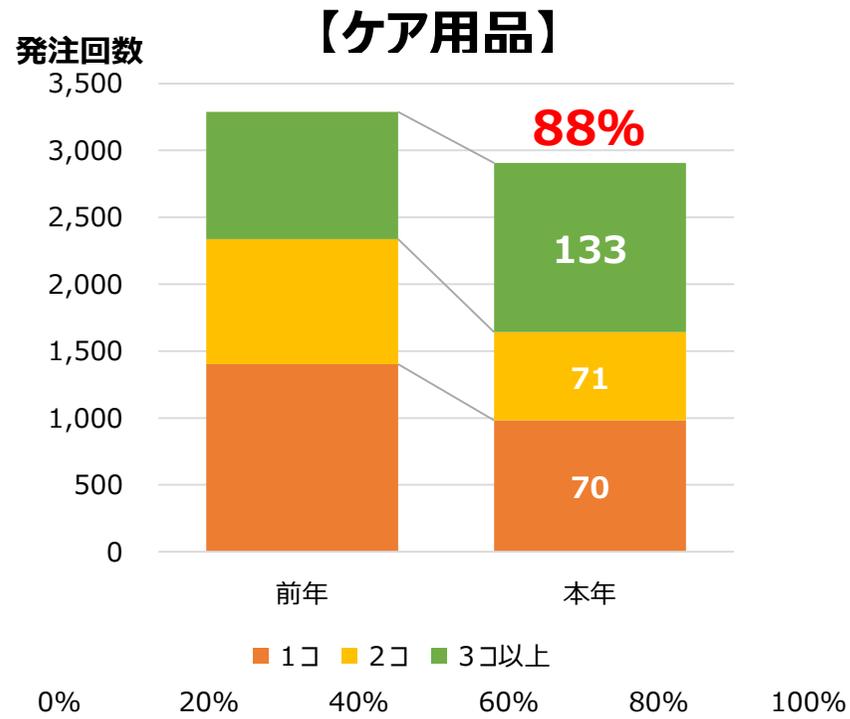
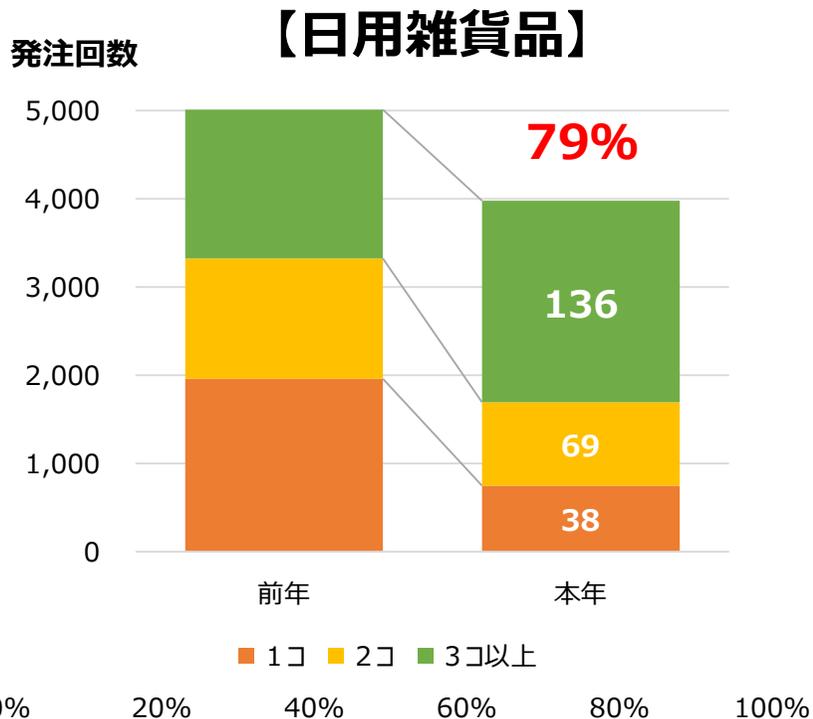
単位：個

前年：17年5月～6月

本年：18年5月～6月

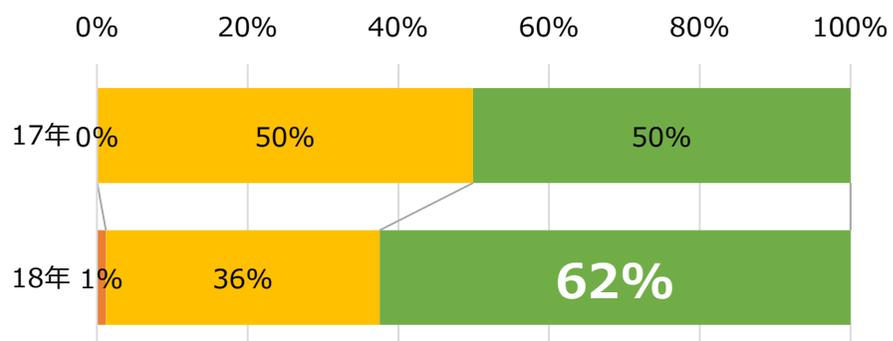
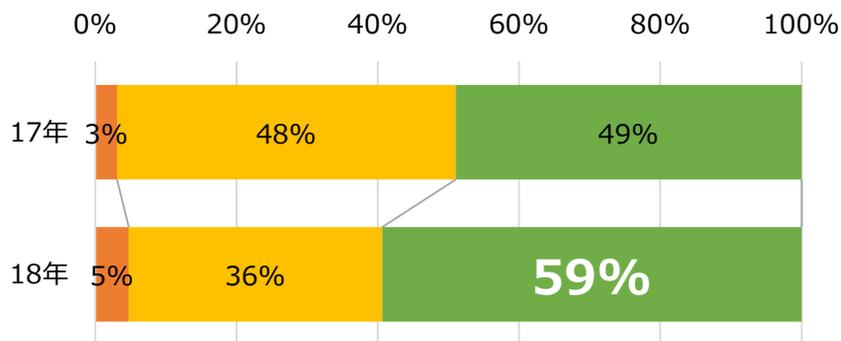
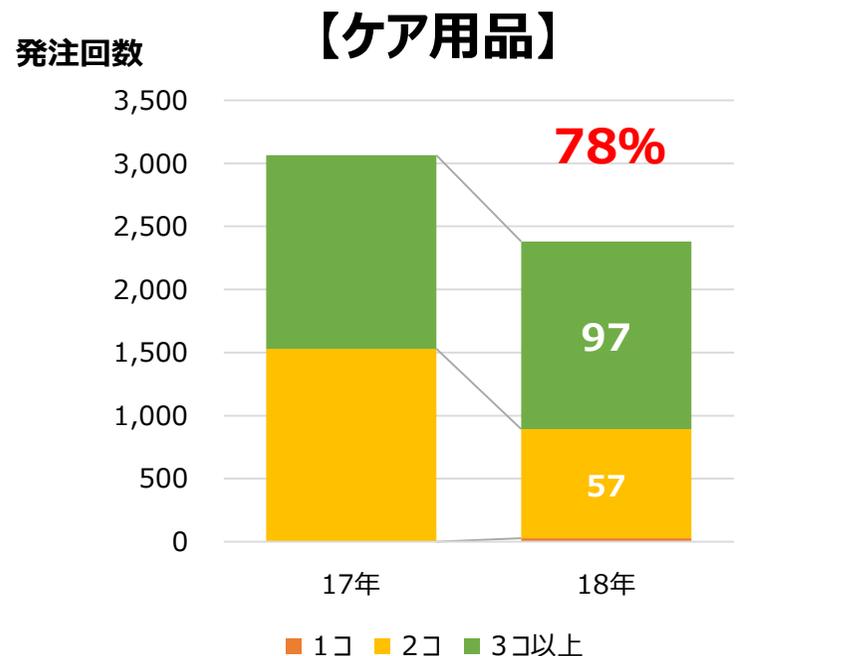
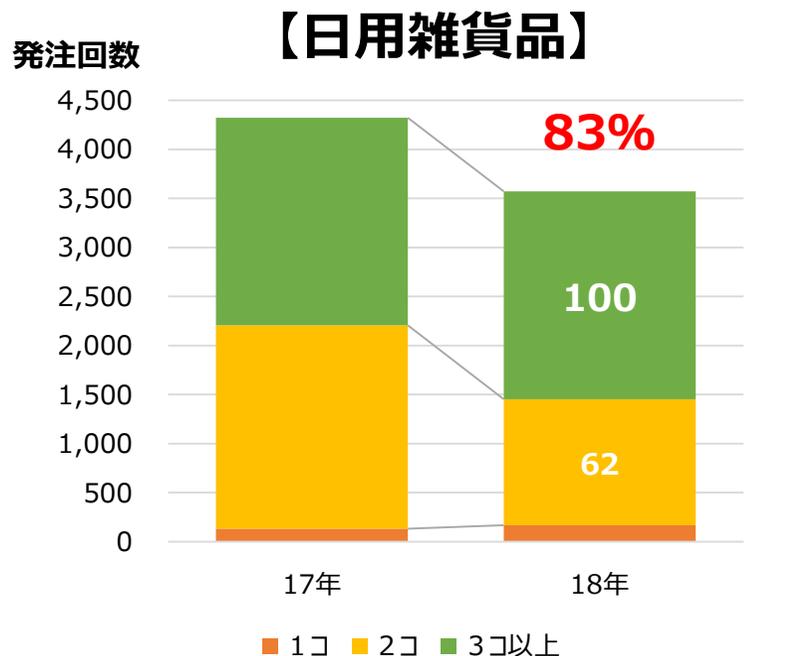
小型店・・・発注個数別の発注回数変化

最低発注量変更により発注回数が減少 = 補充作業回数が低減



中型店・・・発注回数別の発注回数変化

中型店においても発注回数が減少 = 補充作業回数が低減

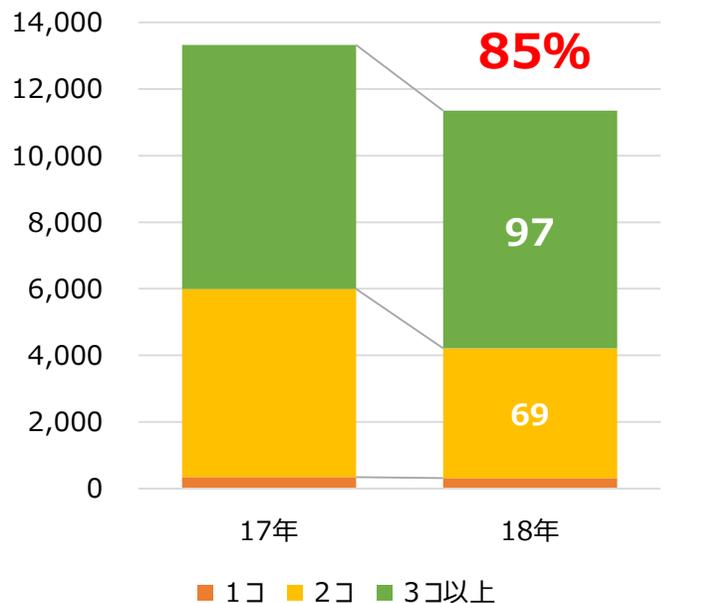


大型店・・・発注個数別の発注回数変化

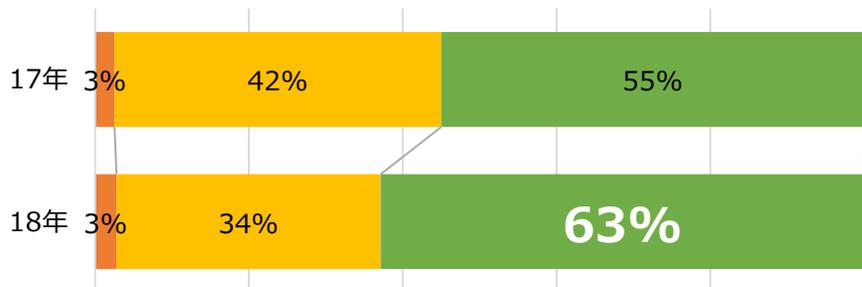
大型店においても発注回数が減少 = 補充作業回数が低減

【日用雑貨品】

発注回数

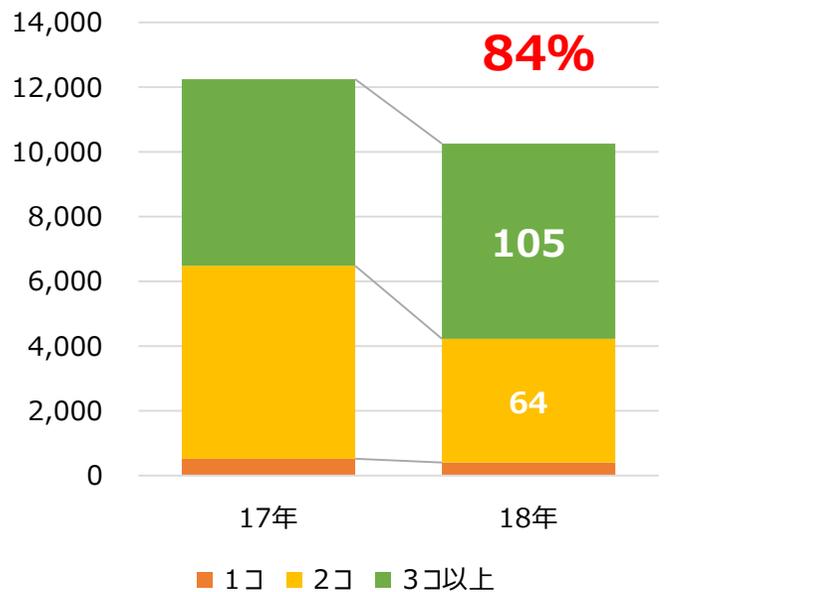


0% 20% 40% 60% 80% 100%



【ケア用品】

発注回数

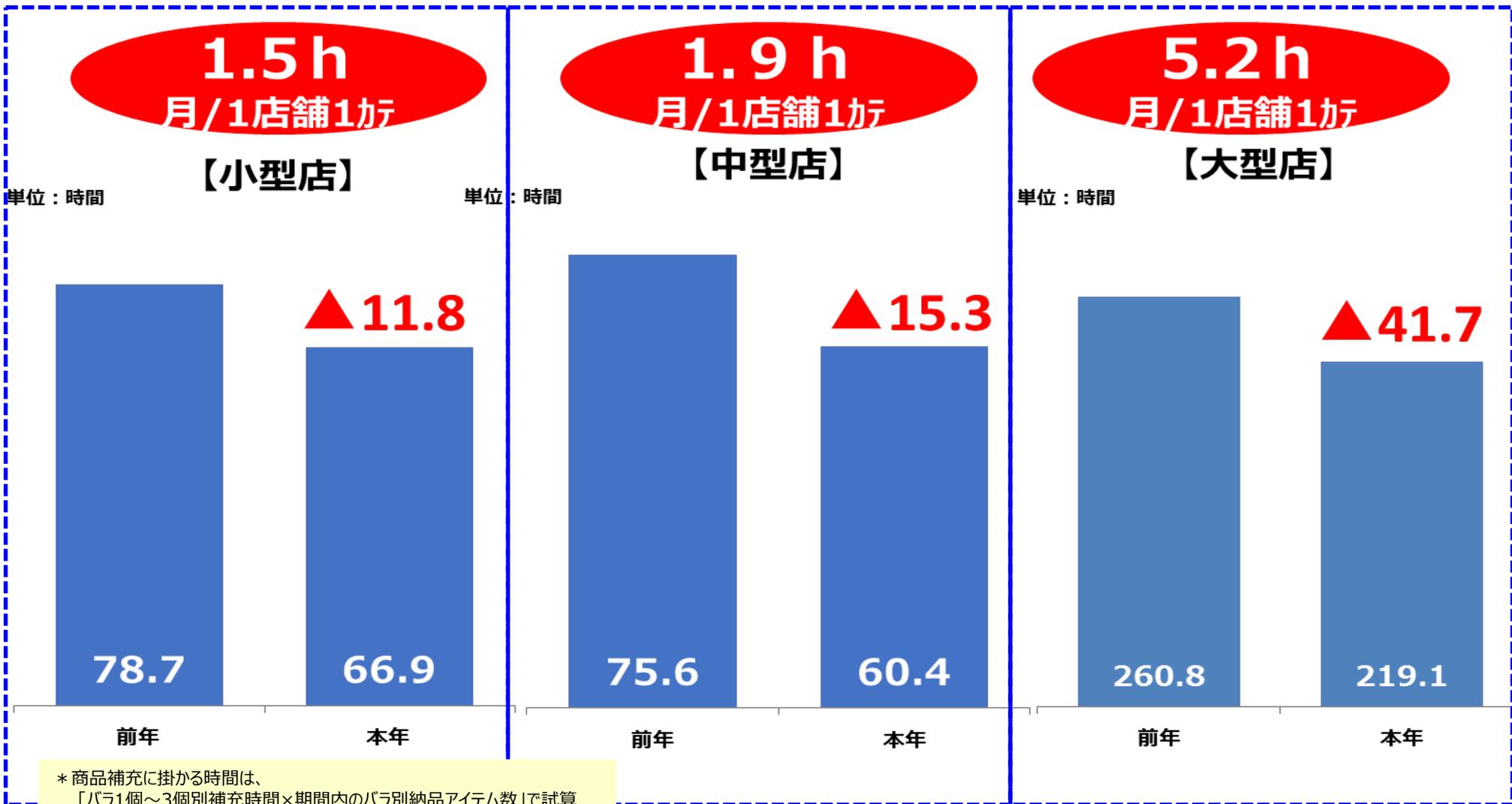


0% 20% 40% 60% 80% 100%



補充作業時間の前年比較（最低発注量見直し対象の2売場計）

最低発注量を見直すことで、店舗規模毎に補充作業時間低減が見込める



* 商品補充に掛かる時間は、
「バラ1個～3個別補充時間×期間内のバラ別納品アイテム数」で試算
■ バラ1個に掛かる時間：30秒
■ バラ2個に掛かる時間：38秒（1個あたり19秒）
■ バラ3個に掛かる時間：36秒（1個あたり12秒）

在庫金額の前年比較（最低発注量見直し対象の2売場）

最低発注量を変更しても、在庫金額に大きな変化はなかった

在庫金額の前後比較

	ケア	雑貨	計
本町店	104%	101%	102%
立花店	90%	96%	93%
小型店小計	94%	98%	96%
姫原店	93%	102%	96%
安城寺店	64%	111%	87%
中型店小計	82%	106%	93%
重信店	94%	96%	95%
松山店	98%	100%	99%
大型店小計	96%	98%	97%
実験店 計	92%	100%	95%

アジェンダ

1. 店舗オペレーションの現状と改善活動
2. 店舗オペレーション改善活動の結果
3. 店舗オペレーション改善による効果見込

対象売場と店舗の拡大シミュレーション

最低発注量の見直しをする売場を『10売場』に拡大すると、全店舗合計で補充業務を『月間2,292時間』低減できる見込み

補充業務時間シミュレーション

	店舗数	1売場当り 陳列削減時間	拡大売場数	削減 時間計
小型店	46	1.5	10	690
中型店	46	1.9	10	874
大型店	14	5.2	10	728
計	106			2,292



**対象売場
(10)**

- ①ランドリー(洗濯洗剤) ②食器用洗剤 ③住居用洗剤
- ④ヘアケア ⑤ヘアコスメ ⑥ヘアカラー ⑦スキンウォッシュ
- ⑧オーラルケア ⑨シーズン化粧品 ⑩生理用品・軽失禁

